

インフルエンザの流行がひと段落したと思ったら、今度は花粉の飛散が始まり、マスクを手放せない人も多いでしょう。学年末考査まで、あと10日ほどです。寒い日が続いていますので、体調に気を付けてしっかりと準備をしておきましょう。

☞ 自宅学習期間について

2月21日（金）は一般選抜が実施されます。採点日と3連休が連なり、来週の水曜日（2/26）までは自宅学習期間となります。ほっとしている人もいるでしょう。体を休めるにはいい期間だと思います。

ただし、**確認ですが、自宅学習期間は、お休みではありません。**授業によっては、課題が出ているものもあります。

また、3月4日（火）から学年末考査が始まります。2月25日（火）は考査1週間前です。体を休めつつ、学年末考査に向けてしっかりと勉強をしておきましょう。

☞ 成績について

卒業後、ほとんどの生徒が進学・就職をしますが、その進学先・就職先には学校からの書類「調査書」を提出することになります。調査書には3年間の「成績」も記載されます。成績はどのように決まるか理解していますか？「生徒ハンドブック」のp19には、次の通り説明があります。



学習成績の評価について

教科・科目の評価は、授業態度、出席状況、提出物、小テスト、定期考査、実技・実習の成果、定期考査などの平素の学習状況を総合して行います。提出物等は、期日を守ることも評価の一つです。

つまり、今までと、これからの**取り組みすべてが評価の対象となる**わけです。

本校では、推薦制度を利用して受験する生徒も多いのですが、**推薦では成績つまり評定が合否に影響する場合もあります。**つまり評定は上げられるだけ上げておいたほうがよいといえます。

1年次の成績は、1年次1年間の成績、2年次の成績は2年次1年間の成績ですから、**3学期の取り組みが評価を上げる最後のチャンス**です。次回の学年末考査でよい成績をとること、提出物等をきちんと期日までに提出すること、が重要になってきます。**成績が良くなって困るということは無い**と思います。できるだけことはしておきましょう。

☞ 進路ガイダンス =3月21日(金)実施=



今年度最後の進路関係行事です。今回も多く在大学・専門学校の方にお越しいただき、学習内容や学校の様子、取得できる資格や卒業後の進路についてご説明いただきます。学校によっては、短い時間の体験をしてくださる学校もあります。希望の学校でなかったとしても、**希望の分野について多くの情報を集めるチャンス**です。聞きたいことをまとめておき、積極的に質問しましょう。ぜひ有意義な時間としてください。

☞ 一月往ぬる 二月逃げる 三月去る

いちげついぬる にげつにげる さんげつさる（一月往ぬる 二月逃げる 三月去る）という言葉があることを知っていますか？

1月は行く、2月には逃げる、3月は去るとも言います。1月から3月までの時期は、時間の流れが速く、毎日があっという間に過ぎ去る事を例えた言葉です。

1月が過ぎ去り、2月は逃げ去り、3月は消え去る…この3か月。あっという間に終わってしまうことを昔の人は良く表現したものです。

残された期間が逃げ・去ることのないよう実りあるものにしていくためには、一日一歩ずつでも前に進むよう、挑戦する気持ちを持ち続けましょう。

2月はあと1週間しかありません。3月は学年末考査後から修了式までの登校日数は、たった11日しかありません。4月には進級です。新年次の準備として残された期間を大切に過ごしましょう。

☞ 英語検定二次試験 =3月2日(日)実施=

3月2日に英語検定の二次試験があります。学年末考査の直前ではありますが、何とか頑張って受験してほしいと思います。一次試験は本校で実施しましたが、二次試験は指定された会場での受験となります。必ず事前に場所を確認し、遅れず受験できるようにしましょう。

<二次試験の流れ>

二次試験の流れについて説明します。ここでは、英検 2 級を例にとって具体的な流れを見てみましょう。2 級の二次試験の大まかな流れは以下の通りとなります。

1. 係員の指示に従い、面接室に入室
2. 面接委員に「面接カード」を手渡す
3. 面接委員の指示に従い、着席
4. 氏名・級の確認、挨拶
5. 面接委員からパッセージ（文章）と 3 コマのイラストが印刷された「問題カード」を受け取る
6. パッセージの黙読（20 秒）
7. パッセージの音読
8. パッセージについての質問（No. 1）
9. イラストの展開説明（No. 2）
10. 「問題カード」を裏返す
11. 受験者自身の意見を問う質問（No. 3, No. 4）
12. 「問題カード」を面接委員に返す
13. 退室



上記は英検 2 級の流れですが、その他の級でも大まかな流れは同様です。各級の具体的な流れについては、英検の公式 HP に詳しく記載されています。受験前には必ずチェックしましょう。

<二次試験の評価の観点>

英検の公式サイトには、二次試験の評価観点として「ナレーション、応答の内容、発音、語い、文法、語法、情報量、積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲や態度など」と記載されています。**ナレーションとは、イラストを見て、自分の声でその内容（登場人物の動作や気持ち）を説明することです。**

一次試験との大きな違いとして、**二次試験ではアティチュード（態度や姿勢）に関する要素がある**ことが挙げられます。正解／不正解だけでなく、積極的に英語でコミュニケーションを取ろうとする姿勢を見せることも必要となるのです。

英検 3 級以上を受験する際、一次試験に合格すると、二次試験としてスピーキングを問われる面接形式の試験があります。しっかり対策をすることで、合格を引き寄せることができます！頑張りましょう！

参考：イングリッシュワールド web ページより

<https://english-w.jp/matome/certification/3685/>

☞ =「時間泥棒」から自分を守ろう！ 時間がないは言い訳である！=

学年末考査が近づいてきました。すでに、考査に向けた学習は進めているはずですが、どうでしょうか？「まだ試験範囲も聞いてないし…」とか「入試でほぼ 1 週間お休みだし、少しくらい遊んでも大丈夫！」などと考えている人はいませんか？そういう人たちの口から出てくる言葉で一番多いのが「**時間がない**」という言葉です。時間は皆さんに**公平に 24 時間与えられています**。間違いないですね。

自分の生活をよく振り返ってみてください。**あなたの時間を奪ってしまうものが身近にありますか？**

例えば、スマホやパソコンのメール、ゲーム、アニメ、YouTube、Instagram、友達との長電話、長時間の朝の支度などなど…。メールに 1 時間、ゲームに 1 時間、YouTube、Instagram に 1 時間、友達と 30 分の電話…スマホで時間を溶かしている、ということは、ありませんか？もしそうだとしたら「時間がない」と言う前に、**まず「時間泥棒」を排除しましょう。「時間泥棒」から時間を取り戻すのです。**

スマホ・パソコン・テレビ・ゲームの電源は切って勉強を始めます。電源を OFF にすることが無理なら、メールはすぐに返信しなければいけないという強迫観念は捨てましょう。そして、安心して試験勉強をしましょう。時間の使い方を見直すいい機会です。せめて、**年次末考査までは「時間泥棒」に時間を奪われないように気をつけようではありませんか。あなたの大事な将来のために！**

